

欠けて失くした

色も味も

万華鏡は硝子の屑に

使い終わったペレットみたいで

絵の具はあまり美味しくない

不意に落ちた雷で泥になって

毒虫になれたら本望だ

有益な不快害虫に

陽の光を避けて行く道

ある日差した汚い虹

空に境界線が引かれた

名付けられない故の孤独と

蛹のままで眠るよすがに

カーテンが開け放たれる

まだ成りたくはなかった

選択肢など要らなかったのに

知らぬが仏を知らぬ愚かよ

ならばいっそ

シャボン玉にでもなればいいのだ

幼稚園児の小指のように

いずれ錆び付く絵空

七千三百と少しの言い訳

小鳥の囀りに返す言葉もない

鏡を叩き割る勇気さえ

埃に埋めたタイムカプセルの中

解答欄は空白のまま伏せり

継ぎ接いだ夢に蓋をして